

ダイアボンド No.1616

ダイアボンドNo.1616は、速乾で、糸切れの良いクロロプレングム系接着剤です。

§ 特長

1. 糸切れが非常に良く、乾燥が速いため、作業性に優れています。
2. 初期接着性、耐熱、耐水性に優れます。
3. 割合広範な材料に接着します。

§ 用途

1. 音響，電気，光学，精密小型部品の接着
  2. その他 木材，金属，石材，ゴム，皮革の接着
- ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	クロロプレングム
外 観	黄色
不 揮 発 分 (%)	31.5 ± 1.5
粘 度 (mPa·s) at20°C	3,000 ~ 6,000
指触乾燥時間 (分) at20°C	1 ~ 3
粘着保持時間 (分) at20°C	5 ~ 15
保 証 期 間 (月) at25°C	8
引 火 点 (°C)	-17
発 火 点 (°C)	240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し，汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 刷毛などで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。  
塗布量は，片面当り 150～250 g/m<sup>2</sup>（両面で 300～500 g/m<sup>2</sup>）塗布して下さい。
3. はり合せ 常温にて 5～10 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後，充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

		はく離強さ (N/25mm)		せん断強さ (MPa)	
		Fe/Can	Cr/Can	Fe/Fe	Al/ABS
常 態	1 時間	35	33	0.6	0.4
	24 時間	80	82	1.0	1.1
	48 時間	96	95	1.1	1.5
	96 時間	104	103	1.2	2.0
熱老化	70℃・96 時間	100	105	1.8	2.2
耐 熱	80℃	42	45	0.5	0.5
耐 寒	-20℃	96	92	1.6	2.0
耐 水	48 時間	80	78	0.7	0.8

Fe：鋼板 Can：綿帆布 Cr：ユニクロメッキ鋼板 Al：アルミニウム板

ABS：ABS 板

試験方法 JIS K 6854，K 6850 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	200 ℃ 以上
3 日 目	200 ℃ 以上
5 日 目	200 ℃ 以上

被着材：鋼板／天然ゴム／鋼板

試験方法：JIS・K・6833 に準ずる

## § 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。